



発行所
興行寺教化部

福井県吉田郡永平寺町
電話 0776-64-2744
FAX 0776-64-2791

新田塚道場 (支坊)
福井市新田塚2丁目46-26
電話 0776-26-1191
FAX 0776-26-7868

いよいよ

親鸞聖人750回大遠忌法要

前門様ご親修

4月24日(日)

法要の日程を決定した後は、来春のことで、まだ遠いことだと思っていました。が、いよいよ約一ヶ月後に近づいて参りました。

昨秋より実行委員会が結成され、何回か委員会が開かれ、法要の具体的な体制も整えられ、今後、当日の実動も向け、より確かな計画のもと、当日を迎えたい。まずは門信徒の皆さまがお一人でも多く、五十年に一度というご縁にあつていただくことこそ大切であります。

我々の地域でも過疎化の問題が大きな課題であります。日本の産業構造が変わり、農村地帯の人口が都市に移動したことがあります。家の存続が難しくなり、今まで伝承されてきた宗教的伝統と真宗のみ教えが継承できなくなってきました。若い人がおられる家庭でも、親から子へのお念仏のみ教えを伝えることが難しい状態になってきました。別居したりして、核家族となり一緒に仏壇にお参りするという美風もなくなってきました。

現在人間本来の自己中心的な心のみが強くなり、家庭もバラバラになりつつあるように感じます。

こうした中、もう一度、お念仏を通して自己の問題に気づき、本当の人間のあり方に目覚めることが大切であります。

この法要が、親鸞聖人が身をもって顕かにされた八百年近く続いた浄土真宗のお念仏のみ教えを、子や孫に伝わっていくよう我々一人一人が積極的に努力していくことの機縁になればありがたいことでもあります。

どうぞ、皆様お誘い合わせの上、ご参詣下さいませようお待ち致しております。

スケジュール

4月23日(土)

午後 2時

蓮如上人御忌法要

ご法話 中山法龍師

4月24日(日)

午前 9時20分

仏壮40周年式典

10時

「お寺念珠つなぎ落語会」笑福亭仁智

11時

帰敬式

午後 1時

稚児行列

2時

法要 (前門様ご親修)

3時~4時半

つどい (前門様ご臨席)

おわび

第九十二号、二十七年秋季で二十四日十時より奈良興光明寺住職でシンガポールグライターの三浦明利さんの歌とトークショウとご案内いたしました。ご本人が五月に出産というので出演不可能になりましたので、十年前、蓮如上人五百回忌の際、来ていただきました笑福亭仁智さんに変更になりましたので、ご了承下さい。



ホームページのご案内

平成25年より、興行寺のHPが新設されました。大遠忌法要の情報、桜の開花など、どうぞご覧下さい。

URL <http://www.kougyouji.jp>



← 携帯・スマートフォンのバーコードリーダーで読み込んで下さい。

稚児募集

● 平成28年4月24日(日)

● 申込金 1万円

(衣装・小物等一式、お土産、お弁当代(2人分)含む)

◆ 最終締切 … 平成28年3月末



ご案内

法要当日は昼食引換券をお渡しいたします。
・細川仏壇店のご厚意により「そば」を無料提供。
・「華の蔵」を無料開放。
・裏庭、芝生広場を開放。
・下境内にて出店があります。

駐車場のご案内

興行寺周辺で数か所確保しますが、更には大駐車場(お寺まで徒歩三分程、稚児受付の善教寺様へは徒歩二分程、三百台位は駐車出来る予定)が、法要に間に合うように、只今工事中です。

えちぜん鉄道ご利用の方

「竹原駅」までご連絡頂ければ送迎致します。

送迎バスの運行

後日、各地区世話方さんより場所、時刻等のご連絡を致します。
どうぞ、ご利用下さいませして、お誘い合わせの上ご参詣下さい。

北陸布教の道 (三)

頼円・玄真一族の展開



三門徒の特徴

門流段階では、擬似同族的な「衆」としての結束状態であり、本寺・末寺という支配・被支配関係は、まだ主流にはなっていない。日本仏教史上で、師匠と仏との分離、祖師の特定、その師の教義の叙用、特定の専修への結束を初めて主張したのは、本願寺八代の蓮如であるが、現代に通ずるこの「宗派」としての指標が他派にも援用され、定着するのは、近世に入ってからであった。中野野では、ようやく元禄期に至り、親鸞を排し開基を如道一人に絞こんでいる(『専

伝寺転派類末記』『集成』四、七七頁)。

各派を包括する「真宗」という共通概念が一般化するのには、実は近代に入ってからであった。福井市「仏照寺由緒書」は、「中興右高田宗より三門徒派二改修又浄土真宗二属シ、則汁谷仏光寺之末寺ニ罷成」(『福井県史』資料編三、五六七頁。成立年時不詳)と記している。各派に対する認識が、現代と違っていたことが伺われる。

の阿弥陀如来は「イロモナクカタチモマシマヌ」ものであり、拝む対象仏の存在を否定するのにも一理ある。しかし三門徒は、代わって「善知識」を拝む方向へ傾斜していった。(『三門徒法脈』)。中世において、人物影像を本尊と称する例は多々見受けられ、師匠・善知識が仏・如来に等しいとする見方(『真恵上人御書集』三『集成』四、五三頁)は、一般に広く認知されていた。仏と等同の法師が次々と輩出する限り、多数の先師を内包し続けながらも、集団は新たな人師を中心に、次々と分裂を重ねて行き、分裂後の教線は局地的となっていく。三門徒派の分裂と不祥秘事・善知識頼みとは、表裏の関係にあったものと思われる。各集団内部でこの覇権・淘汰の争いを経て近世に至り、専照寺・証誠寺・毫根寺の四カ寺

が、ようやく本山としての地位を確立する。ところで三門徒系の一部には、祖師と経の選択化・固定化を進め、宗派の直前段階にまで到達せんとする小集団も存在していた。それが三門徒各派のどの系統に属するものかは、明確でないものの、『三門徒法脈』に、「如道ノ義流ニハ、死人二時ノ衣類ヲ着サセス、ユアマサセス、忌日ニ魚鳥等ノ食事ヲ忌マズ、没後葬礼等ノ儀式カルクセヨ」とあり、文明七(一四七五)年と推定される福井市浄得寺蔵の蓮如御文写(『三十六通御文集』『蓮如上人遺文』真偽未定分九)には、「(親鸞の)和讃・正信偈ハカリ力肝要、阿彌陀經モ誦マヌ、六時礼讃ヲモ勤行セシ、念数モツヒトナシ」一遍ノ念仏モマフナリ、師匠ノ報謝ノ志ハカリナリ」とある。本願寺は七代存如のころからこの三門徒の一部

「お講」の集い

寺や各道場で「お講」の行事が行われている。お講さま、お講さんと呼んでいる。当寺でも冬の間二十五回ある。十二月五日に始まり、蓮如上人、親鸞聖人の御命日、十四日・十六日は毎月三月までは必ずお講日に入っている。五日とか七日とか歴代住職、坊守の命日だったりして、毎年決まった日に行われ、お講当番も決まっております。当日のお参りのお世話をします。

法話 「信ずる条文」

本誓寺住職 松本梶丸先生



「自分を信ずる 人を信ずる 世の中を信ずる」
小学校三年のときに発病して六年間、入院をくり返し、腎臓の全ての病を身に負って高瀬順子さんは十四歳の生涯を閉じた。これはその苦痛に満ちた病床の中で書きとめられた「信ずる条文」と題する文章の冒頭の言葉である。

七十年、八十年生きて、こういう人生で終わっていかば、順子さんの十四年の生涯にはるかに及ばない。「謙虚な心を守らずに、人生は時間プラス深さで決まると。どっちも欠けてはいけない。なまけないでやる！」手帳にはこんな言葉が続いている。限られた、流れ続ける時をどのように生かすか、なにを感じ取って生かすのか、生きるこの価値はそこで決まる、と順子さんは言う。この言葉の中から、損得打算を

出ることがない今日のおおきたの人間の生きざまが見えてくるのではないか。
順子さんのお父さんである元毎日新聞論説委員の高瀬善夫さんは、娘について言っている。「学校へも行けず、ベットの寝たつきりで、本を四歳という短い時間の中で、これだけのことを考えることができたということは、親としてうれいというのか、親としてうれいというのか、親としてうれいというのか、娘に素直に頭が下がるのです。ウカウカと大学を出てしまった父親の私が、とても(生と死)に比べて、これ程の文章を書けるとは思いません」

さらに「世の中を信ずる」という言葉について「これは自由主義社会がいいとか、社

と接触を持つが、蓮如も彼らから多くのことを習得した可能性は考えられよう。次回は、超勝寺・興行寺

の誕生とその特徴を記載します。
(北陸の地における本願寺教団の形成と念仏者の歩みより)

亡くなられた方々

(敬称略)

中村はなゑ	96歳	片瀬
植田 幸枝	83歳	福井
花形しづゑ	96歳	郡区
比島美代子	97歳	松岡
小倉キミエ	100歳	鷺塚
酒井 忠由	79歳	清水
森近 満子	83歳	下合月
池村 貞雄	83歳	大津市
田中 菊枝	97歳	片瀬
丸山 久子	96歳	勝山
中西 花子	87歳	丸岡
柳原美代子	89歳	福井
宗石 和恵	61歳	丸岡
松村 藤與	82歳	比島
比島アチ子	98歳	松岡
西脇ハルコ	92歳	新保
小沢 君代	76歳	片瀬
佐々木惣兵衛	69歳	郡区
水野 玲子	80歳	郡区
佐藤紀美子	75歳	郡区



昔は食事を持参し、当番はみそ汁を作り、漬け物等を振るまつた。その後、段々簡素化され、お菓子やみかんとお茶の接待だけとなった。それも当番が各自持参していたが、近年、近くのお店屋さんも失くなり、講のお金で、みかん箱とお菓子を購入している。

現在は午前九時より本堂にて正信偈行誦と讀仏偈のお勤めが行われ、お講の間と呼ばれる部屋にて、坊守(現在は若坊守)がお読みものをして、感想を述べたり、疑問

平成27年度 興行寺一般会計決算書

項目	本年度予算	本年度決算
収入の部		
割方金	2,400,000	2,421,000
本山助成金	10,000	153,900
前年度繰越金	249,693	249,693
合計	2,659,693	2,824,593
支出の部		
保険掛金	480,000	473,710
宗費・教区・組費	720,000	650,680
教化費	350,000	370,248
事務通信費	50,000	46,732
会議費	40,000	41,425
借地費	84,000	7,040
修繕維持費	350,000	463,427
積立金	400,000	400,000
予備費	185,693	0
合計	2,659,693	2,453,262

平成28年度 予算書

項目	前年度予算	本年度予算
収入の部		
割方金	2,400,000	2,400,000
本山助成金	10,000	10,000
前年度繰越金	249,693	371,331
合計	2,659,693	2,781,331
支出の部		
保険掛金	480,000	484,000
宗費・教区・組費	720,000	660,000
教化費	350,000	370,000
事務通信費	50,000	50,000
会議費	40,000	80,000
借地費	84,000	7,000
修繕維持費	350,000	400,000
積立金	400,000	400,000
予備費	185,693	330,331
合計	2,659,693	2,781,331

2,824,593円 - 2,453,262円 = 371,331円
(平成28年度へ繰り越し)

今春もどごぞお花見に

暖冬の影響で、春の訪れも早
いようで、しだれ桜も四月早々
に開花するとの予報である。
今春は法要があるので、例年
行われている花見コンサート
は残念ながら中止となった。
花の咲いている期間中、裏
庭を開放、自由に桜の花に親
しんでいたゞき、優雅に散
策して下さい。

「GEN」さんのコンサート
が行われ、多数の方々が楽し
んだ。
例年の手打ちそば店の他、
東日本大震災の復興協力店、
勝山恐竜店など三店が出店
し、にぎわいを見せた。
定着してきたようで、来年は
行いますのでご期待下さい。
昨年、ご参加下さった方よ
りお手紙いたゞきましたの
で、ご紹介いたします。



コンサートに参加して

福井市 井原淑子様

四月の前半とは言え、寒気
の中で早春の息吹を感じて
おりますが、不思議にも去る
十二日には、暖かさを頂ける
という好天に恵まれました。
テレビ等では、あちこちの桜の
満開の様子が放映されていま
したが、私達夫婦は新聞で
知った興行寺様の、しだれ桜
まつりに参加したいときめて
いました。昨年は、四月に入り
毎日新聞記事を見ていたので

すが、開催日を知ることが出
来ず淋しい思いをしていまし
た。今年はお蔭様で御縁を頂
くことが出来、指折り待って
当日を迎える事が出来まし
た。有難うございました。
当日は十時三十分きつちり
と、つどわせて頂くことが出
来ました。今年も八十一才の
夫と仲よく二人でみごとなし
だれ桜を拝することが出来、
その幸せに感動で涙が出て来



てしまいました。時期が来れ
ば、どこでも桜は花を咲かせ
てくれますが、当寺の桜の木
は他とは全然ちがいます。男
魂を思わせる様な貫緑一杯の
大木のしだれ桜の木は、ピン
ク色の花を一杯つけては、ずか
しそくに、その大木により
そって立っています。ピンク
の花を包みこむ様に白色の花
が咲きみだれていきます。この
二色のコントラストは、しだれ
桜ならではの貫緑を思わせ、
やはり四百年もつづいての歴
史にあるのだと思えました。
見ごとな庭の中から聞こえて
くる滝の音は、一層私の心を
落ちつかせてくれました。
いよいよイベントも始ま
り、先程まで「静か」だった
お寺の境内もすっかり賑やか
になってまいりました。私の
心も浮かれてまいりました。
ハーマン二カに合せて歌を歌い
ました。大きな声が出来まし
た。源さんとと言われる方のラ
イプも見せて頂きました。お
姉さんと妹さんと仲良しさん
二人の五人のグループとお聞
きし感心しました。それぞれ
が自立しながらも姉を立て、
妹を愛し、自分も長男として
の心を持ってまどめていかれ
るすがたは、素晴らしいいな
と思いました。源さんは、「若
さま」「若さま」と何回も呼
ばれとうとう舞台上に上らせら
れて、「興行寺さま」「興行
寺さま」と全員で歌わせてし
まわれたことは、すごいなど

お便り



大寒の候、理事長先生は
じめ先生方におかれまして
は、ますますご健勝のこと
とお慶び申し上げます。
先日は成人のお祝いに
手紙と歎異抄を送っていたゞ
きましてありがとうございます。
私のことを覚えて下さり、
大変嬉しく思いました。
お蔭様で先日無事に成人式
を迎えることができました。
久しぶりに幼稚園での友人
とも顔を合わすこともでき、
とても良い思い出となりました。
私も今年四月から、みづ
こしこども園に就職が内定
し、先生方と同じ幼児教育
に携わることになりました。
先生方のような立派な保育
者になれるよう、頑張りた
いと思います。研修の場など
お会いしましたら、是非、ご
指導の程よろしくお願い致
します。寒さ厳しい折、お身
体には気を付けてお過ごし下
さい。
福井市 五十嵐璃子様 敬具



思いました。皆が心ひとつと
なり、仏様に感謝させて頂
き、それを守って下さる御住
職様の父上がいらっしゃり、
それを慕われる御令息様の若
様がここにこの元気でお寺を
守られる父と子の敬愛の絆を
学ばせて頂くことが出来まし
た。きつとこの絆に憧れて檀
家の皆様方達はついてこれれ
ていらしやるのだからと、よ
そもの私は思いました。
白とピンクの立派な桜の
木が雄しく育ていく訳が、今
日の日のイベントの中から、
よく学ばせて頂きました。誠
に有難うございました。勝山
の皆様方のハーマン二カの色
の美しさは、今でも忘れるこ
とは出来ません。無償の愛に
感動でした。
奥様始め隠れた所でお働
き下さった人達にも、一層の
感謝で御座います。また来
年もどうぞよろしくお願
い申し上げます。楽しみに待
っております。有難うござい
ました。
お母様の美智子様の便り
も同封されていました。
理事長先生、いつもお世
話になっております。
この度は、娘の成人のお祝
いに歎異抄を贈っていたゞき
ありがとうございます。
大切にしたいと思えます。
幼稚園も認定こども園と
して即スタートされ、小さ
いお子さんが増え、毎日にぎ
やかな様子が目にかびま
す。皆様方の今後ますます
のご発展を心よりお祈り申
し上げます。
寒気厳しい折、御健勝に
お過ごし慶賀に存じ上げま
す。此の度、久しぶり御健
勝な拝顔に接し嬉しく存じ
ました。日増しに年を重ね
て老化して行く身は一期一
会の思いで遠い昔を思い出
し乍ら、今日までの御厚情
に心よりお礼申し上げます。
大法要間近に何かと御
心労の事と存じます。滞り
なく御満座をお迎いの程念
じ上げます。寒さも一段と
厳しい折、御健勝を念じ上
げます。有難うございました。
茨木市 山崎昭孝様

褒章

鹿兒島県 東一男様

私も八十歳になりました
が、近年体の具合が悪く週
三日通院しております。
小学生の頃から、祖母に連
れられて、お寺参りをした
たおかげで、今も朝夕のお勤
めを行い、一ヶ月一回は鹿兒
島別院に向いております。
み仏に向けて手を合わせ
てお礼申し上げることが、何
よりも大切なことと思っ
て有がたく毎日過ごして
おります。
仏のまことの道に
たゞ涙

土曜学校に通って

六年 西尾美月

私は、土曜学校で六年間
「心の勉強」をしました。心
の勉強は、とても大切なこ
とだと思います。
土曜学校に通って良
かったと思うことは二つあり
ます。一つ目は、友達と仲良
く出来るようになったこと
です。それらから、土曜学校
にはないか考えたり、言葉を
選んだり出来るのが少し

住職雑記

○今冬は暖冬とのことでお
正月も穏かであった。一月
中旬、雪も少々降りスキー
場が大喜びである。
○法要も近づくと、する事
がしばしばあり、時間がなく、
目の前にせまってきた。子供
の頃の時間はゆっくり流れ
る。大人になると時間は早
い。なぜだろう。
朝日新聞に信州大の山沢
清人学者は脳科学者の言葉
を引いて、「周りの世界が
見慣れたものになってく
ると、時間が速く過ぎ去って
いくように感じられる」。見
るもの全てが新鮮な子ども
と、大人との違いは明らか
である。自分で時の流れを
遅くすること、それには
「新しい場所を訪ねる。
新しい人に会う。」と脳
の取りこむ情報量が多くな
り、時間はゆったりしてく
る。それが創造的な思考を
育てることにつながるのだ
という。
なるほど。やはり探究心を
失わないことが大切である。
ずつ増えてきました。二つ目
は、命の大切さを分かるよ
うになったことです。最近
は、いじめなどで自殺して
しまう人がいます。でも、それ
はとても悪いことです。一人
の命でも、とても大切な
ので、命を大切にしたいと
思います。
この六年間で、心が少し
づつ成長してきたと思いま
す。でも、まだまだ子どもで
す。これからも、土曜学校に
行ける時があったらお話を
聞いてきれいな心を成長さ
せていきたいと思えます。

